



このページは読者の皆さんからの  
声にふれあう場です。  
いろいろな声をお寄せください。

### 続、懐かしい志布志弁

●タンポポさん

12月の市報にわたしの志布志市のエッセイが

のついでに、寺の住職さんへ一筆書いて申間市報を送る。ページに〇印をつけ本名で表す。年賀と一緒に返事が届く。そして「なつかしい志布志弁のエッセイすばらしいですね。心よりお礼申し候」とあり、また当寺へ遊びに来てくださるとあり、母上さまによりしくお伝えくださいと!!なんだコリヤ!!わたしを一体何歳だと思っというらっしゃるのかと一人で大笑いする。寺の住職さんと申間市報!!ひよんな取り合わせと思っただけ、毎月発行されている市

の行政や行事など分かってもらえらよいチャンスだと思っただ。また、わたしとの出合いを市民の皆さんが読んでくださるよい機会だと思っ、一人よがりて市報を送ったような次第であった。

タンポポさん、いつもお便りありがとうございます。広報くしま12月号で掲載させていた志布志のお寺の話はとも面白かったことを覚えておきます。お互いが同じ方言で話すのは、とても親近感がわきますね。お寺のご住職もきつと楽しい気持ちだったのではないのでしょうか。そのような気持ちだからこそご住職から楽しいお返事が届いたのだと思っます。そのご返

### 串間の温泉が一番

●くまちゃんさん

この温泉に週3回ほど必ず行きます。前は都城とか霧島に行っていたけど、いこいの温泉が一番いいです。串間市のほりです。いこいの温泉をずっとずっと続けてください。お願い致します。陰ながら応援しています。

くまちゃんさん、お便りありがとうございます。

都城や霧島の温泉に行ったり、いこいの里に週3回通われたりするくまちゃんさんはきつと温泉好きなのですね。いこいの里の水質はとってもなめらかで、市外の方からもよく「こんなすばらしい泉質の温泉はめったにないですよ」という感想を聞きます。温泉が好きな方ほどいこいの里はすばらしい温泉だと感じているだけではないです。

いこいの里も温泉だけでなく、さまざまなイベントや季節ごとのおいしいお料理をご提供するなど、温泉を利用される方に満足していただけるサービスを準備しています。このような活動を通じていこいの里の運営継続に取り組みれていますので、ぜひこれからも応援してくださいね。

### 冬の風物詩

●松本力オリさん

串間市に22年の冬に大雪が降り、なんとめずらしいことでしょう。左は竜口山も白く、家の軒下には大根が白いカー

テンのように見事。今年もそろそろその風景が見られる実家の様子。乾いた干し大根、福岡に届くのは2月末ごろです!わたしにとつて一番の楽しい春だよりみたいです。



松本力オリさん、お便りありがとうございます。

わたしも串間に雪が降ったときはとてもびっくりしました。異常気象がちよつと気になるのですが、串間で雪景色を楽しむことはめったにできないことですので、素直に感動してしまいました。干し大根も冬ならではの風景ですね。この時期は、軒下

## メッセージ・写真投稿コーナー

お誕生のお祝いや、感謝の気持ちをメッセージにして贈りませんか。また、あなたが撮影した写真(人・風景・ペットなんでも可)もぜひ、お送りください。



表紙に掲載した  
谷口家の皆さんをご紹介します

## 串間市は交通死亡事故ゼロ700日作戦

●百野達夫

串間市は交通死亡事故ゼロ「700日」の記録

に昔ながらの方法で大根をつるしている光景をよく目にします。冬に食べる大根はそのままでもおいしく食べられますが、干し大根にするともっとおいしくなりますね。天日で乾燥させることで余分な水分がなくなり、甘みが増すほか、ビタミンCなどの栄養がぎゅっと凝縮されるので、干し大根は健康にとてもよいとのこと。また食物繊維も豊富なので、腸をきれいにする働きもあるそうです。

昔ながらの食べ物はおいしただけでなく、体にもよいものが多いですね。先人の知恵を大事に守り、後世に残していきたいと思っます。広報くしま3月号が発行されるころには松本さんの手元に干し大根が届いているころでしょうか。おいしい干し大根を食べて、元氣な春をお迎えてください。

達成運動を展開中でした。これに沿って、串間市の交通安全新春の集いが去る1月6日、市役所であった。串間市では1月4日、目標にしていた死亡事故ゼロ500日を達成したが、引き続き「700日」の目標を市役所の交通安全モニタメントに掲げ、関係機関が連携して取り組むことを確認した。この集いで、仁田脇申間警察署長さんは「昨年、県内の交通事故数は依然多い状況。市民の皆さんと連携を図りながら、700日作戦の達成に向け取り組みたい」とあいさつされた。串間市はおとしの1月23日に死亡事故ゼロ丸3年を達成し、県内に大きな名譽を披露した。そのとき、市民は誇りに思った。正月明けは気が緩みがち。緊張感を持った運転をしつかり意識づけ、死者ゼロ700日を期し、土つかずの白星で輝く金字塔を打ち立てたい。「どこでも渡らず、慣れた道ほどLR確認!」

百野達夫さん、いつもお便りありがとうございます。お便りのあった交通死亡事故ゼロ500日の話題は、広報くしま2月号のまちの話でもお伝えさせていただきました。交通死亡事故は突然親しい人を失う、とてもつらく悲しい出来事です。また、事故を起こしてしまった加害者も一生苦しむことにつながります。被害者、加害者の両方が苦しむ交通事故を防ぐためには、百野さんからのお便りにもあるとおり、普段から注意を怠らないことが一番重要です。慣れた道ほど、ついうっかり左右確認などの安全確認を忘れてしまいがちですが、そのような心の隙が事故につながります。わたしも「大丈夫だろう」という考えではなく、「もしかしたら何か起きるかも」という心構えを持ちながら運転するようにしていきたいと思っます。これからもぜひご意見をお寄せください。楽しみに待っています。

## お便り・投稿募集しています。

下記QRコードをご利用ください(紙面に限りがあるので、すべての投稿を掲載することができないことがあります。あらかじめご了承ください)。

- ①名前(ペンネーム可) ②連絡先 ③コメントを必ず添えてください。 ④Eメールアドレス info@city.kushima.lg.jp



◎伝言メッセージ例

### じいじ・ばあばへ

じいじ、ばあば、いつもありがとうございます。たくさん長生きして、一緒に遊んでね。

アビちゃん

↑ お便りお待ちしています。